



Chapel
Information

チャペル通信 vol.167 (2025.7-9)



特別礼拝

<池袋チャペル>

- 7月 1日(火) 19:15 日曜学校さゆり会入会礼拝
8日(火) 17:00 メサイア実行委員任命・結団式
13日(日) 12:00 立教大学オーガニスト・ギルド入会式
21日(月) 12:30 立英会・立教大学英語会逝去者追悼とサマーキャンプ成功祈禱
25日(金) 17:00 体育会山岳部合宿帰還および夏合宿出発礼拝
9月 19日(金) 10:00 卒業礼拝
12:30 学位授与式(秋季) @タッカーホール
15:00 入学式(秋季)

<新座チャペル>

- 7月 1日(火) 12:35 竹田鐵三神父奨励金授与式
26日(土) 8:40 体育会野球部朝の祈り
30日(水) 11:00 体育会水泳部関東学生選手権・水泳教室前の祈り
9月 3日(水) 16:30 体育会ラグビー部ユニフォーム祝福・授与式

一敗戦 80 年を覚えて一

敗戦記念日礼拝

8月15日(金) 10:00 立教学院諸聖徒礼拝堂(池袋チャペル)

司式・奨励 中川 英樹 チャプレン

裏面の立教大学チャプレン団 平和メッセージ『敗戦80年を迎えて』もご覧ください。

チャペルコンサート (要事前申込、入場無料)



(8月7日(木)より申込受付開始)

9月27日(土) 開場 13:00 開演 13:30 @新座チャペル
サクソフォン/長瀬 正典 オルガン/永瀬 真紀

(8月28日(木)より申込受付開始)

10月11日(土) 開場 13:00 開演 13:30 @新座チャペル
ホルン/島方 晴康 オルガン/崎山 裕子

申込方法などは、
ホームページでお知らせ
します。
定員になり次第、申込
受付を終了します。

定例の礼拝(授業期間中の開催)

<池袋チャペル>

◆朝の祈り 月～土 8:20～ 8:40

◆昼の祈り 月・水・木 12:50～13:10

月曜日:チャプレンによる講話

水曜日:「学生は語る」(学生が自身の学生生活を通じた経験を語ります)

木曜日:「歌による昼の祈り」として、聖歌隊とともに礼拝を行います

「学生は語る」一今月、お話をしてくださる方ー

◎7/ 2(水) 松田 葵さん(経済学部経済学科 4年/体育会空手部女子主将)

◎7/ 9(水) 木村 明依さん

(観光学部交流文化学科 4年/2024 年度アジア寺子屋代表)

◎7/16(水) 武井 奏良さん(文学部文学科 4年/体育会相撲部主将)

◎9/24(水) 青木 望愛さん

(社会学部社会学科 4年/2024 年度ハンドベルクワイア代表)

◆夕の祈り 毎週金曜 17:45～18:45

聖歌隊の美しい歌声やハンドベル、オルガンの奏楽とともに、祈りがささげられます。

<新座チャペル>

◆昼の祈り 火・木 12:50～13:10

チャプレンによる聖書や聖歌についてのお話を聞き、祈り、聖歌を歌います。

7/1(火)の昼の祈りは
特別礼拝のため行いません。

その他の行事

7月 9日(水) 17:10～19:00 「死にたい」と思うあなたへー死について語り合う会ー

@池袋キャンパス 学生相談所 [担当:中川 英樹チャプレン、山中 淑江カウンセラー]

7月 10日(木) 17:10～19:00 「死にたい」と思うあなたへー死について語り合う会ー

@新座キャンパス 学生相談所 [担当:藤田 誠チャプレン、矢部 浩章カウンセラー]

夏季休業期間中(8/1～9/19)のチャペル事務室の開室時間は下記のとおりです。

また、同期間中の土曜・一斉休暇(8/9～8/20)は閉室となります。

【池袋・新座ともに】月～金 9:00～16:00



立教大学チャプレン団 平和メッセージ 『敗戦 80 年を迎えて』

「平和を造る人々は、幸いである その人たちは神の子と呼ばれる。」
(マタイによる福音書 5 章 9 節)

立教大学にあって、平和を願うすべての人びとへ

今年は、1945 年 8 月、日本が日中戦争、太平洋戦争を含む、世界大戦での敗戦を認め、ポツダム宣言と呼ばれる無条件降伏勧告を受け入れてから 80 年目を迎えます。しかし 80 年が経てもなお、イスラエルによるパレスチナ自治区ガザ地区への空爆、ミャンマー軍事独裁政権によるミャンマー国内での圧政、ロシアとウクライナの戦争、イスラエルとイランの紛争、加えてアメリカによる介入など、世界規模での戦争の予兆を感じさせる出来事がここ数年、立て続けに起きています。また大国、強国と称される国々でナショナリズムが興隆し、大規模な移民排斥、さらに利己的な経済活動は、深刻な貧困や環境問題を引き起こしています。

日本国内においても、80 年前の沖縄戦で多くの沖縄住民が大日本帝国軍の兵士によって殺された(沖縄住民が軍による統制によって精神的に追い込まれて自死したことを含めて)という事実を認めようとしない国会議員がいることも明るみに出ました。また「台湾有事」を前提として奄美・石垣・宮古での軍備拡張が進んでいます。それらの現況が示していることは、わたしたちの生活上の安全が今、極めて危うい状況にあるという現実です。

敗戦の翌年 1946 年に公布された日本国憲法は、戦争という悲惨と痛みを知った人びとの、もう二度と、戦禍を繰り返すまい、との悔いと、子どもたちに平和を手渡そう、との決意の連続線上にあります。この憲法に謳われた、戦争放棄、基本的人権の尊重は、神の似姿として創られた人間の尊厳を守ることに奉仕するキリスト者のみならず、平和を願うすべての人びとの切なる願いであり、戦争の終結から 80 年経った今も、決して手放してはならない希望であり続けています。

今年創立 151 周年を迎える、わたしたちの立教大学にとっての戦後は、つねに平和の構築に寄与する学問探究の歩みであったと言えます。それは、本学がアジア・太平洋戦争の最中、学生たちを戦地に送り出した、という深い痛みの反省に立ってきたからです。立教大学は、自由の学府であると同時に平和の学府です。社会正義と世界平和に貢献する人を育成すること、それも、わたしたち立教大学の教育的使命と考えます。

今、わたしたちにできることは、無関心を戒め、隣人への愛に生きよう、との、キリストの教えに聴き、そして、連帯と信頼をもって平和と相互理解のための努力を惜しまないことです。敗戦から 80 年目を迎える今年、正義と平和を希求しながら、日々、立教大学の教育活動を支え、守ってくださる皆さんと、改めて、真の平和への決意を共にしたいと思います。

2025 年 6 月 26 日
立教大学チャプレン団

